



「おはようございます。調子はいかがですか？」から始まる診察室。最近「生活習慣病の体質調査にご協力を」とお願いするため、少し余分に時間がかかっています。

外来診療では、脳卒中や心筋梗塞(こうそく)などの動脈硬化性疾患を予防するために、高血圧や糖尿病、高脂血症といった生活習慣病の治療が主になっています。

### 「ゲノムバンク」

現在、自治医大が中心で行っている大規模地域ゲノムバンク事業「生活習慣病と体質(遺伝子)の調査」に、私を含め全国各地の卒業生が参加しています。生活習慣や遺伝子を調べ、

# 信頼あつてこそ調査・研究

「健康な方と病気の方を比較することに、病気との関連を地域別に解析し、今後の治療や予防に役立てよう」という壮大なプロジェクトです。

このような調査・研究は、病院職員のご理解や、患者様の協力が必要です。卒業生の先輩方が築き上げてきた患者様や病

院職員との厚い信頼関係があるからこそできる研究であると考えています。

### 「優しい医療」を

自治医大を卒業し、はや六年が過ぎました。二年の初期研修を終え、伊豆半島最南端の共立湊病院へ三年、そして現在、伊豆半島中部に位置する伊豆赤十字病院に二年目の勤務となっています。

私は、特に専門を決めず、何でも診察でき、病気だけでなく家庭や地域のことも考え、優しい医療を提供できる総合医を目指して今日までやってきました。

さらに、医師不足の余波にのみ込まれそうな当院が少しでも活性化することを願い、先の自治医大の臨床研究にも参加し始めました。日々の診療からは、さまざま疑問が生まれます。その疑問を解決するには、きちんとした手法で調査・研究しなければなりません。そして、調査・研究の結果を住民の皆さまに診療を通して還元することが何よりも大事です。

地域密着の医療にするために、微力ですが、住民の方々への健康教室を開催したり、日赤フェスティバルを通して救急蘇生(そせい)法を説明したり、往診を行い実際に患者様のご自宅にお伺いもしています。

今後、日々の診療とともに、そのような臨床研究もできる総合医を目指し精進していきたいと思っています。

(次回予定は滋賀県)

たけしま たろう 竹島 太郎 23期生・2000年卒



毎年開催される伊豆赤十字フェスティバルで、救急蘇生法を住民の方々に説明する竹島医師。左奥は事務長

## 伊豆赤十字病院

【私の勤務地】伊豆赤十字病院は静岡県伊豆市(旧修善寺町)にある94床の小規模なへき地中核病院。医師不足のあおりを受け本年度、産婦人科が閉鎖されたため住民は困惑している。修善寺は伊豆半島のほぼ中央に位置する温泉観光地。ワサビ、シイタケの産地でもある。